

# 第3章

## おおいた文化・芸術推進プラン2024 の体系



# 1 基本理念

## こころ輝く 大分市 -文化・芸術でつくる人とまち-

文化・芸術は、心豊かな市民生活を実現するとともに、郷土を愛する心や地域の一体感を醸成する大きな役割を担っています。これまで本市において生まれ、受け継がれてきた多彩で多様な文化・芸術を通じて、市民一人ひとりに多くの感動をもたらし、魅力と活気あふれる大分市をめざします。

# 2 基本目標

基本理念を具現化するために、3つの基本目標を掲げます。

### はぐくむ

市民一人ひとりが日常生活において、身近な場所で気軽に文化・芸術に出会い、親しむことができる機会を提供し、子どもから大人まで市民全体の豊かな心を育みます。また、本市の文化・芸術の持続的な発展に向けて次世代の担い手を育成します。



### ささえる

多様な市民による主体的・創造的な文化・芸術活動の場や発表の機会、情報発信等の様々な場面で幅広く支援します。また、市民、地域、企業、行政等が一体となって、本市の文化・芸術の質の向上と活発な活動を支えます。



### つなぐ

地域に受け継がれてきた文化財や伝統文化、食文化を守り、発展させて次世代につなぎます。また、文化・芸術で市民がつながり、本市と国内外の都市をつなぐとともに、その創造性を生かした新たな価値の創出に向けて様々な関連分野との連携を図ります。



### 基本施策・取組項目

### 将来像

### はぐくむ

- (1) **多彩な文化・芸術に触れる機会の充実** → 身近な場所で気軽に多彩な文化・芸術に触れています
  - ①市内各地で多彩な文化・芸術事業の展開
  - ②質の高い魅力的な文化・芸術事業の展開
  - ③市民の特性に合わせた効果的な情報発信
- (2) **次世代を担う子どもたちの育成** → 多くの子どもたちが文化・芸術に興味をもち、次世代の担い手育成につながっています
  - ①子どもたちが文化・芸術に触れる機会の提供
  - ②子どもたちの文化・芸術活動の発表の機会の提供
  - ③子どもたちが歴史・伝統文化を学ぶ機会の提供
- (3) **文化・芸術環境の充実** → 公共施設等を拠点に文化・芸術の交流が広がっています
  - ①公共施設の利便性の向上
  - ②市民交流・情報発信の拠点づくり

### ささえる

- (1) **主体的・創造的な文化・芸術活動の支援** → 様々な場面で主体的・創造的な文化・芸術活動を支援しています
  - ①文化・芸術活動の場・発表の機会の提供
  - ②自主的な文化・芸術活動の支援
  - ③文化・芸術情報の集積・発信・活用
- (2) **多様な市民の文化・芸術活動の促進** → 誰もが文化・芸術活動を通じて社会に参加しています
  - ①高齢者の文化・芸術活動等の支援
  - ②障がい者の文化・芸術活動等の支援
  - ③県や関係施設等との連携・協力
- (3) **文化・芸術を支える基盤づくり** → 市民、地域、企業、行政等が一体となって、文化・芸術を支えています
  - ①文化・芸術を担う人材の育成・活用
  - ②公共施設の適切な運営・維持管理
  - ③産学官との連携・協力

### つなぐ

- (1) **文化財・伝統文化・食文化の保存・継承・活用** → 地域に伝わる文化財・伝統文化・食文化が脈々と受け継がれています
  - ①文化財の保護・保全・活用
  - ②伝統文化の保存・継承
  - ③食文化の継承・活用
- (2) **地域・都市・国際交流の充実** → 文化・芸術によって地域、都市、国で交流が生まれ、絆が深まっています
  - ①文化・芸術による地域内交流の促進
  - ②文化・芸術関連自治体との都市交流の推進
  - ③文化・芸術による国際交流の推進
- (3) **文化・芸術の創造性を生かした新たな価値の創出** → 文化・芸術と幅広い関連分野との連携で新たな価値が生まれ、社会・経済が活性化しています
  - ①文化・芸術の幅広い関連分野への活用
  - ②文化・芸術によるにぎわいの創出・地域経済の活性化
  - ③魅力ある文化・芸術資源の活用・国内外への情報発信

# 3 基本目標に基づく基本施策、取組項目及び将来像

## はぐくむ

### 基本施策 はぐくむ (1) 多彩な文化・芸術に触れる機会の充実

多彩な文化・芸術事業を市内各地の身近な場所で開催するとともに、年齢や障がいの有無、経済的な状況に関わらず、あらゆる人が気軽に文化・芸術に触れる機会の充実を図ります。

#### ● 現状と課題

本市では、日本における「西洋音楽発祥の地」であることにちなんで、市内各地でコンサートや音楽イベントを実施しているほか、周辺地域の小学校跡地を拠点に創作活動するアーティストと地域が連携したアートイベント等に取り組んでいます。また、ホルトホール大分やコンパルホール、地区公民館等の市民に身近な場所で、各種公演や展覧会、文化・芸術講座を開催するなど、多彩な文化・芸術事業を展開しています。

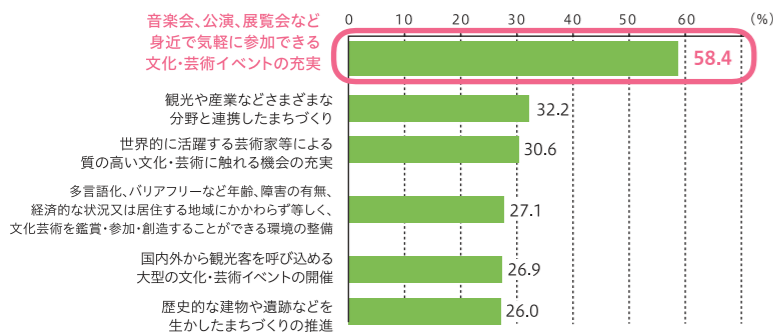
さらに、2018(平成30)年度から世界最高峰の演奏家が集う「別府アルゲリッチ音楽祭」に、本市も大分県、別府市とともに主催者として参画し、同音楽祭との連携事業を積極的に行うなど、優れた文化・

芸術に触れる機会の創出を図っています。

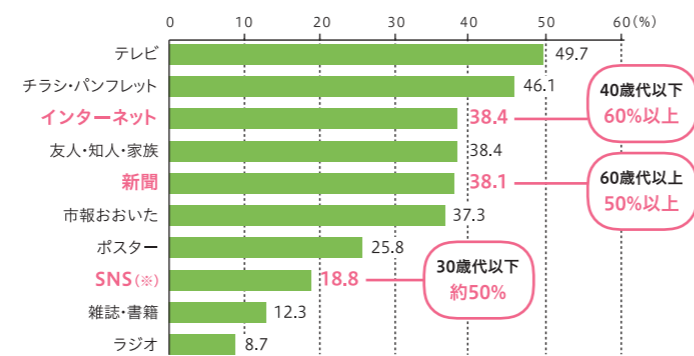
文化・芸術に関するアンケートでは、文化・芸術がもっと盛んになるために市が行うべきこととして、「音楽会、公演、展覧会など身近で気軽に参加できる文化・芸術イベントの充実」の割合が58.4%と最も多くなっています。また、文化・芸術に関する情報の入手方法を年代別に見ると、40歳代以下で「インターネット」が60%を超えて最も多い入手媒体となっているほか、「SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)」は30歳代以下では約50%、60歳代以上では「新聞」が50%を超えるなど、世代に合わせた情報ツールでの発信が求められています。

#### 文化・芸術に関するアンケート

文化・芸術がもっと盛んになるために行うべきこと (P51参照)



#### 文化・芸術に関する情報の入手方法 (P45参照)



※SNS(フェイスブック、ツイッター、ライン、インスタグラムなど)

#### ● 取組項目

##### ① 市内各地で多彩な文化・芸術事業の展開

身近な場所で気軽に文化・芸術を鑑賞、体験できるよう、文化施設や市民(行政)センター、地区公民館等で、多彩な分野の公演や展覧会、ワークショップ、講座を開催します。

##### ② 質の高い魅力的な文化・芸術事業の展開

文化・芸術団体との連携や民間ノウハウの活用等により、国内外の優れた文化・芸術を鑑賞できる公演や展覧会を開催します。また、大分ゆかりの優れた芸術家を招聘し、本物の文化・芸術に触れる機会を提供します。

##### ③ 市民の特性に合わせた効果的な情報発信

市報や市ホームページ、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)\*、チラシ等の各種広報媒体の活用や多言語化など、戦略的な広報による効果的な情報発信に取り組みます。

#### 将来像

身近な場所で気軽に多彩な文化・芸術に触れています



どこでもコンサート



開校!野津原こどもアート学校

用語解説

※SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

会員制のウェブサイト上で職業・趣味・写真・文章等を公開し、会員同士で交流できる機能を提供するサービス。

## 基本施策 はぐくむ(2) 次世代を担う子どもたちの育成

文化・芸術の振興や郷土の歴史、伝統文化の継承のため、地域や学校において多彩な文化・芸術に触れ、発表できる機会や歴史・伝統文化を学ぶ機会を提供し、次世代を担う子どもたちの育成を図ります。

### ● 現状と課題

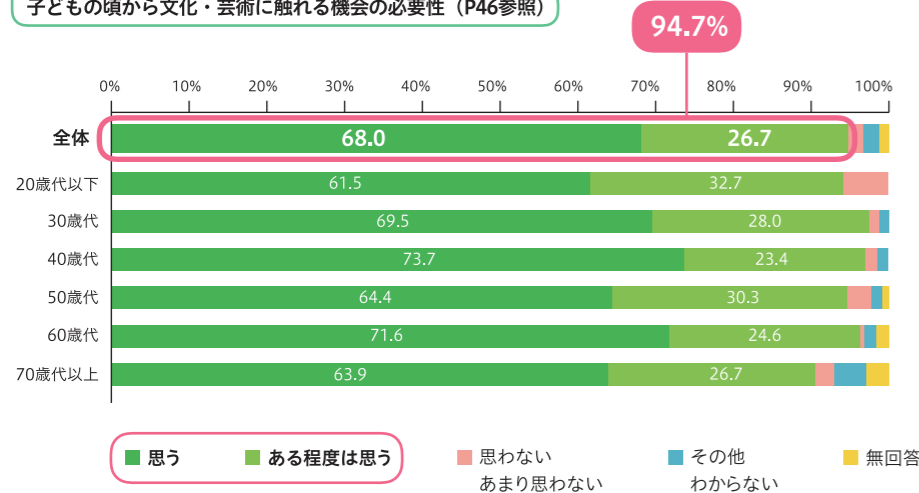
子どもたちが文化・芸術に触れることは、創造性や感性を高め、多様な価値観を身につけることにつながります。本市では、大分市美術館や大分市歴史資料館等の文化施設によるアウトリーチ活動<sup>※</sup>を通じて、子どもたちに大分ゆかりの優れた芸術家の作品紹介や地域の偉人・文化等の幅広い文化・芸術に触れる機会を提供しています。また、日頃の創作活動の成果を発表する場として、福田平八郎賞図画展や高山辰雄賞ジュニア美術展、朝倉文夫賞彫塑展等の様々な展覧会に取り組んでいます。さらに、郷土の歴史や伝統文化を学ぶ機会として、大友宗麟公の功績を伝える副読本の配布や歴史検定、FUNAI

ジュニアガイドの育成等を行っています。

文化・芸術に関するアンケートでは、子どもの頃から文化・芸術に触れる機会の必要性について、「思う」「ある程度思う」が94.7%と高い割合を示しています。また、本市の文化・芸術施策を重要度・満足度で分類した相関表(P13参照)の早期改善項目に「子どもが文化・芸術に親しむ機会の充実」、「学校教育における文化・芸術に関する学習・体験機会の充実」が位置しており、子どもの頃から身近に文化・芸術を享受できる機会を提供し、次世代につなげていく必要があります。

### 文化・芸術に関するアンケート

子どもの頃から文化・芸術に触れる機会の必要性 (P46参照)



### ● 取組項目

#### ① 子どもたちが文化・芸術に触れる機会の提供

文化・芸術への興味・関心が高まるよう、子どもたちを対象とした公演やワークショップ等を開催します。また、大分市美術館やアートプラザ等によるアウトリーチ活動や国内で活躍する芸術家との交流を図ります。

#### ② 子どもたちの文化・芸術活動の発表の機会の提供

文化・芸術を創造し、表現することの喜びにつながるよう、子どもたちが文化・芸術活動の成果を発表できる展覧会や公演等を開催します。また、表彰制度等を通じて、文化・芸術活動に対する意欲の向上を図ります。

#### ③ 子どもたちが歴史・伝統文化を学ぶ機会の提供

郷土の歴史や伝統文化を知り、親しみを育てるよう、子どもたちを対象としたワークショップや講座等を開催します。また、大分市歴史資料館や南蛮BVNGO交流館等によるアウトリーチ活動や伝統芸能の専門家による体験型プログラム等を行います。

### 将来像

多くの子どもたちが文化・芸術に興味をもち、次世代の担い手育成につながっています



福田平八郎賞図画展、朝倉文夫賞彫塑展



FUNAI ジュニアガイド

## 基本施策 はぐくむ (3) 文化・芸術環境の充実

年齢や障がいの有無、経済的な状況に関わらず、あらゆる人が文化・芸術に対する理解と関心を深めるとともに、文化・芸術活動や交流の場として積極的に利用できるよう、公共施設の機能や利便性の向上など、文化・芸術環境の充実を図ります。

### ● 現状と課題

本市中心部には、ホルトホール大分をはじめ、コンパルホール、大分市美術館、アートプラザ、大分県立美術館、大分県立総合文化センター、平和市民公園能楽堂など、数多くの文化施設が集約されており、市民の主体的・創造的な文化・芸術活動や発表の拠点施設としての役割を担っています。また、指定管理者制度\*を導入している文化施設では、民間ノウハウを活用した自主事業の実施や利用者の利便性の向上を図っています。さらに、2019(令和元)年に完成した祝祭の広場では、「大分の新しい文化が創造・展開・発信される場」を利活用の基本方針の一つとしており、屋内空間だけでなく、屋外空間においても文化・芸術活動を表現できる環境を提供しています。また、市民に身近な文化・芸術の交流拠点として、各地域に13の地区公民館が

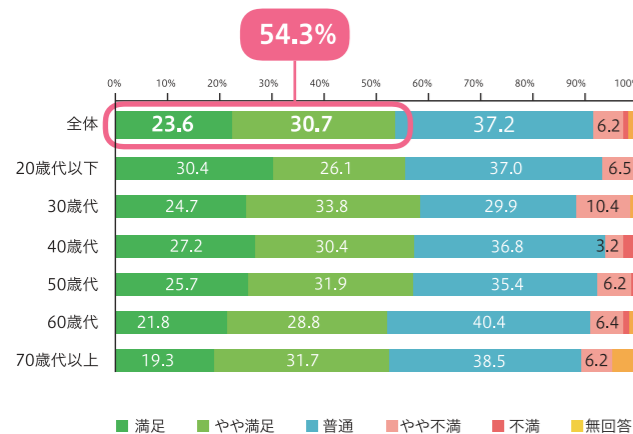
設置されており、多くの市民が利用しています。

一方、民間施設では、ギャラリーやライブハウス等が市内各地に点在しており、自由で新たな文化・芸術が育まれる拠点となっています。

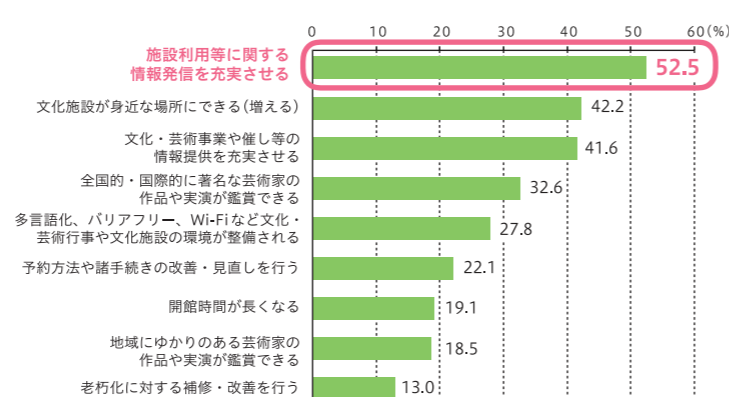
文化・芸術に関するアンケートでは、本市の文化施設の利用環境は「満足」「やや満足」が54.3%と高い割合を示しています。また、文化施設の利用を促進する方法としては、「施設利用等に関する情報発信を充実させる」が52.5%と最も多く、次いで「文化施設が身近な場所にできる(増える)」、「文化・芸術事業や催し等の情報提供を充実させる」といった文化施設からの情報発信が求められています。

### 文化・芸術に関するアンケート

文化施設の利用環境 (ホームページ参照(P59))



### 文化施設の利用を促進する方法 (ホームページ参照(P59))



### ● 取組項目

#### ① 公共施設の利便性の向上

誰もが利用しやすい公共施設となるよう、公共施設案内・予約システムの利便性の向上や施設利用者のニーズ把握等を行います。また、指定管理者制度\*を導入している施設では、民間ノウハウを活用した市民サービスの向上を図ります。

#### ② 市民交流・情報発信の拠点づくり

公共施設の特性を生かし、文化・芸術を通じた市民交流の場を提供するとともに、文化・芸術イベント等の様々な情報発信を行います。また、新たな文化・芸術の交流の場となる民間施設等の情報収集に努めます。

### 将来像

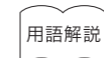
公共施設等を拠点に文化・芸術の交流が広がっています



ホルトホール大分



祝祭の広場



**※指定管理者制度** 地方公共団体が管理する公の施設について、地方公共団体が指定する民間事業者を含めた団体などにその管理を行わせて、市民サービスの向上と経費の削減などを図る制度。

## ささえる

### 基本施策 ささえる (1) 主体的・創造的な文化・芸術活動の支援

多種多様な文化・芸術団体や個人のアーティストの文化・芸術活動の場や発表の機会を提供するとともに、活動情報を効果的に発信し、主体的・創造的な文化・芸術活動を支援します。

#### ● 現状と課題

音楽や美術、舞踊、演劇をはじめ、多彩で多様な文化・芸術活動が市内各地で展開されています。こうした活動に取り組む文化・芸術団体や個人のアーティストのなかには、NPO法人大分県芸術への加盟や活動分野ごとの組織化、関係団体等とのネットワークの構築等により、相互の連携強化を図っている団体等も多くあります。

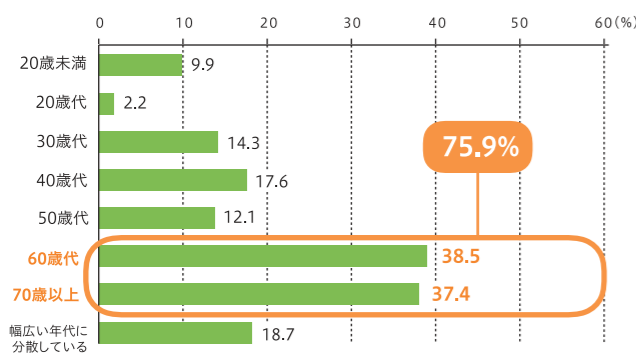
また、本市では、主体的・創造的な文化・芸術活動を支援するため、活動の場や発表の機会の提供、活動費の支援等の総合的な支援を行っています。さらに、大分市美術館では、県内を拠点に斬新で個性的な活動をする若手芸術家に焦点を当てた展覧会

等を開催するなど、次代の芸術家の育成にも力を入れています。

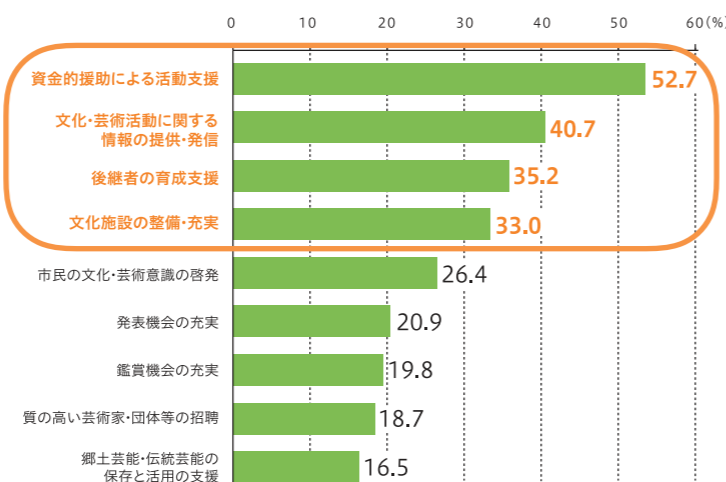
文化・芸術に関するアンケートでは、文化・芸術団体の構成メンバーの年齢構成をみると、60歳代・70歳以上が全体の75.9%と年齢層が高くなっています。活動に当たっての課題(P54参照)としては、「新たなメンバーの確保」や「メンバーの高齢化」が高い割合を占めており、後継者の育成が求められています。また、団体活動の活発化のために行政や民間が行う必要があるものとして、資金的援助が最も多く、次いで情報の提供・発信、後継者の育成支援、文化施設の整備・充実となっています。

#### 文化・芸術に関するアンケート

##### 文化・芸術団体の構成メンバーの年齢構成 (P53参照)



##### 団体活動の活発化のために行政や民間が行う必要があるもの (P55参照)



#### ● 取組項目

##### ①文化・芸術活動の場・発表の機会の提供

公共施設の貸出による文化・芸術活動の場を提供するとともに、日頃の活動の成果を発表する機会として、公演や展覧会等を開催します。また、異分野交流や若手芸術家の支援など、新たな文化・芸術の創出を支援します。

##### ②自主的な文化・芸術活動の支援

自主的な文化・芸術活動の幅を広げるため、公演や展覧会等の情報発信や活動費等を支援します。また、各文化・芸術分野において優秀な成績や評価を受けた者に対して市長表彰を授与するとともに、本市の文化・芸術振興に寄与する取組に対して事業後援を行います。

##### ③文化・芸術情報の集積・発信・活用

文化・芸術団体や個人のアーティストの活動情報や文化施設情報等を集積し、ホームページ等で公開することで、市民の情報入手の場とするとともに、新たな人材の確保につなげます。また、地域、企業等とのマッチングを図り、発表及び活動の機会を創出します。

#### 将来像

様々な場面で主体的・創造的な文化・芸術活動を支援しています



CIAO!2020 (大分市美術館)



おじゅうきアートスタジオ (旧大志生木小学校)

## 基本施策 ささえる(2) 多様な市民の文化・芸術活動の促進

高齢者や障がい者など、多様な市民が文化・芸術活動を積極的に行えるよう、県や関係施設、関係機関等と連携・協力を図り、文化・芸術活動を通じた共生社会の実現をめざします。

### ● 現状と課題

文化・芸術は、創作活動や鑑賞を通じて、新たな価値を社会に生み出すとともに、多様性を尊重し、他者との相互理解を進める力を有しており、共生社会の実現のうえで重要な役割を担っています。そのようななか、2018(平成30)年に県内で開催された「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」では、障がい者アートに関する展覧会やイベントが行われ、障がい者をはじめとする多くの人が文化・芸術を通じた交流を図りました。また、高齢者においても地域における文化・芸術交流を通じて、豊かな生活と社会参加の機会を確保し、元気づくりや生きがいづくりにつながっています。

文化・芸術に関するアンケートでは、本市の文化・

芸術施策を重要度・満足度を分類した相関表(P13参照)の長期対応項目に「高齢者の文化・芸術活動への支援」が位置しており、住み慣れた地域で生きがいを持って、文化・芸術活動を通じた地域社会との関わりを持つための取組が求められています。また、「障がい者の文化・芸術活動への支援」は早期改善項目に位置しており、「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」のレガシーを継承するとともに、日常的な創作活動や発表の場の提供等が求められています。今後、ノーマライゼーション<sup>\*</sup>の理念のもと、あらゆる人が文化・芸術に参画できるような仕組みづくりが必要とされています。



### ● 取組項目

#### ① 高齢者の文化・芸術活動等の支援

老人クラブや高齢者福祉施設、関係機関等と連携・協力を図り、高齢者の表現活動を発表する場を提供するとともに、活動の情報発信を行います。

#### ② 障がい者の文化・芸術活動等の支援

おおいた障がい者芸術文化支援センターや障がい者福祉施設、関係機関等と連携・協力を図り、障がい者の表現活動を発表する場を提供するとともに、活動の情報発信を行います。

#### ③ 県や関係施設等との連携・協力

県や関係施設等と連携・協力を図り、多様な市民が参画できる文化・芸術事業の企画、検討を行うとともに、効果的な事業展開に取り組みます。

### 将来像

誰もが文化・芸術を通じて社会に参加しています



老人クラブ作品展覧会



バリアフリー・ファッションショー in おおいた

## 基本施策 ささえる (3) 文化・芸術を支える基盤づくり

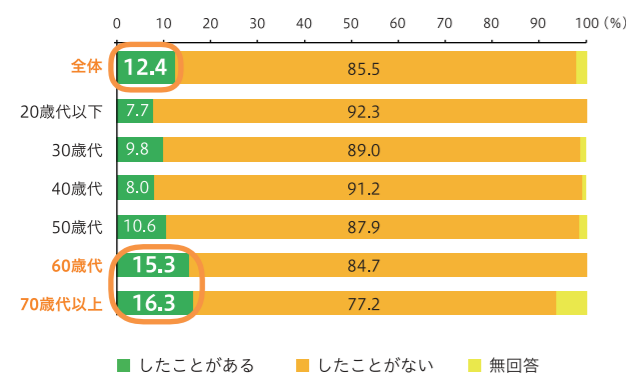
文化・芸術を支える人材育成を図るとともに、公共施設の適切な運営・維持管理を行います。また、産学官で連携・協力を図り、文化・芸術の持続的な発展を支えます。

### ● 現状と課題

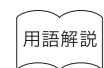
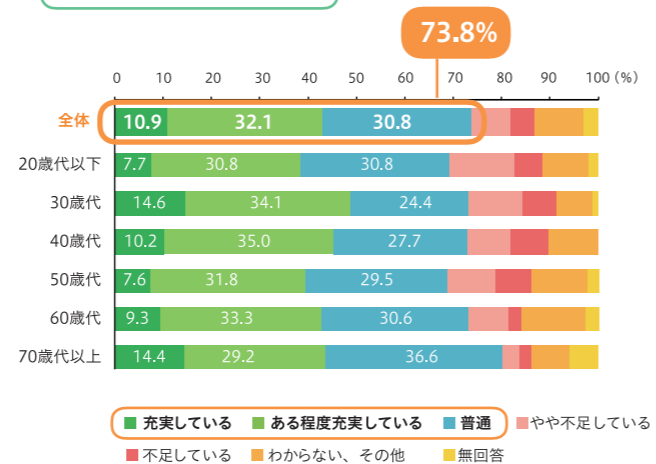
文化・芸術は、文化・芸術団体や個人のアーティストの活動を支える人材等のソフト面と、活動や発表の場となる施設等のハード面の両輪で支えられています。本市においては、大分市美術館や南蛮BVNGO交流館等のボランティアガイドや各種文化・芸術イベントの運営ボランティア等で市民が文化・芸術に参画しているほか、各企業においても事業後援や協賛等を通じて支えています。また、公共施設の特性に応じて、指定管理者制度やネーミングライツ<sup>※</sup>を導入し、長寿命化計画による適切な改修を行うなど、安定的な施設の維持・運営を行っています。

文化・芸術に関するアンケートでは、市民の文化・芸術にかかる過去1年間のボランティア活動の状況については「したことがある」が12.4%と低い割合です。年齢別でみると60歳代以上は15.0%を超えており、全体平均を上回る一方、40歳以下ではすべての年代で10%を下回っており、若い世代の積極的な参画による底上げが求められています。また、文化施設の充実状況については、「充実している」「ある程度充実している」「普通」の合計が73.8%と高い一方、今後、障がい者や高齢者など、多様な市民が利用しやすいよう、ユニバーサルデザイン<sup>※</sup>への配慮も求められています。

文化・芸術に関するアンケート  
市民の文化・芸術にかかる過去1年間のボランティア活動（ホームページ参照(P59)）



文化施設の充実状況 (P49参照)



※ネーミングライツ 市が設置する施設等の名称に、企業名や商品名等の通称を付与することができる権利(命名権)。  
 ※ユニバーサルデザイン 障がいの有無、年齢、性別、人種などにかかわらず、多様な人が利用しやすい都市や生活環境をデザインする考え方。

## ● 取組項目

### ①文化・芸術を担う人材の育成・活用

文化施設の施設案内や展示紹介、文化・芸術イベントの運営補助等に携わる市民ボランティア等の育成、活用に取り組みます。

### ②公共施設の適切な運営・維持管理

公共施設の特性を生かした運営に取り組むとともに、施設利用者のニーズやユニバーサルデザイン<sup>※</sup>等に対応した計画的な修繕や改修等を行います。また、指定管理者制度を導入している施設では、毎月モニタリングを実施し、必要な助言や指導を行います。

### ③産学官との連携・協力

市内の企業や文化・芸術系の高校・短期大学・大学、関係機関等との連携・協力を図り、各文化・芸術事業の推進における情報収集や相談・支援体制の構築に取り組みます。

## 将来像

市民、地域、企業、行政等が一体となって、文化・芸術を支えています



大分市美術館ボランティア「こもれ美」



コンパルホール



## つなぐ

### 基本施策 つなぐ (1) 文化財・伝統文化・食文化の保存・継承・活用

本市が誇る貴重な文化財や伝統文化、食文化の保存・継承を積極的に推進し、郷土を愛する心や一体感の醸成を図るとともに、効果的な活用により創造的で活力ある地域づくりを進めます。

#### ● 現状と課題

文化財や伝統文化は、郷土の先人たちが営々と築き上げ、守り育ててきた貴重な文化遺産であり、学術・歴史的価値の高いものについては、保護・保存を行い、次世代へ継承していく必要があります。

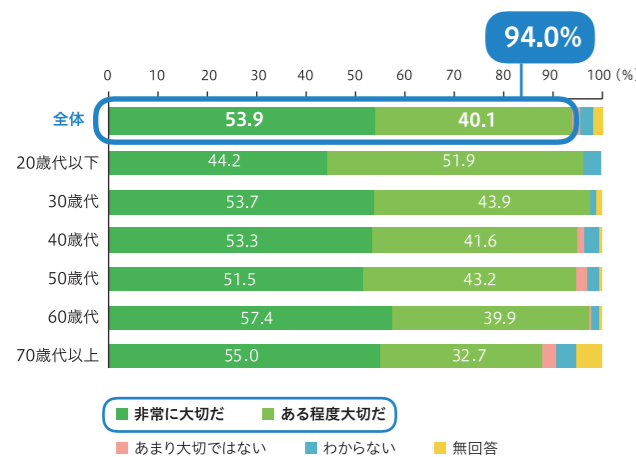
本市では、郷土の英傑である大友宗麟公の功績と南蛮文化が花開いた時代の様々な歴史や文化遺産を市民の誇りとし、魅力あるまちづくりを進めるため、2013(平成25)年に「南蛮文化発祥都市宣言」を掲げたほか、県内7市町(国東市、日出町、臼杵市、津久見市、竹田市、由布市、大分市)で構成される「おおいたのキリシタン・南蛮文化遺産活用・発信プロジェクト」において様々な事業に取り組んでいます。また、大友氏遺跡については、本市の個性と魅力を代表する歴史公園として整備を進めており、その一部である大友氏館跡庭園が2020(令和2)年に一般

公開されました。さらに、大分市歴史資料館や大分市埋蔵文化財保存活用センター、海部古墳資料館等においても郷土の歴史や文化財の展覧会等を通じて紹介しています。

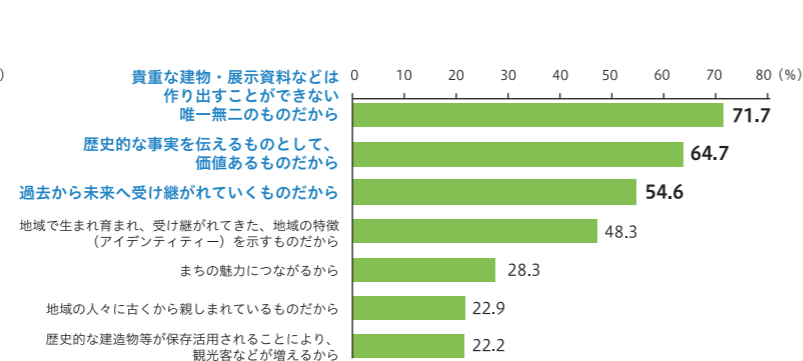
文化・芸術に関するアンケートでは、文化財や歴史的遺産を保存・活用していく取組について、「非常に大切だ」「ある程度大切だ」の割合が94.0%と高くなっています。その理由として、「貴重な建物・展示資料などは作り出すことのできない唯一無二のものだから」「歴史的な事実を伝えるものとして、価値あるものだから」「過去から未来へ受け継がれていくものだから」となっており、これまで受け継がれてきた文化遺産をしっかりと後世へ継承していく取組が求められています。

#### 文化・芸術に関するアンケート

文化財や歴史的遺産を保存・活用していく取組の大切さ (P47参照)



文化財や歴史的遺産を保存・活用することが大切だと思う理由 (P47参照)



#### ● 取組項目

##### ①文化財の保護・保全・活用

文化財の計画的な保護・保全を図るとともに、大友氏遺跡や府内城址を新たな魅力の拠点として効果的に活用します。また、大分市歴史資料館等の情報提供機能の充実や発掘調査現場の公開など、積極的な情報発信を行います。

##### ②伝統文化の保存・継承

地域に受け継がれてきた伝統的な行事、民俗芸能、伝統芸能等の保存・継承を図るとともに、地域における世代間交流の推進と地域の活性化の取組を補助します。また、伝統芸能の伝承者の育成に向けた伝承師の認定を行います。

##### ③食文化の継承・活用

大分の豊かな食や郷土料理等の食文化を料理講習会や各種PR事業を通じて、広く市民に知ってもらい、次世代へ継承していきます。また、地元の農林水産物を使用した料理や豊後料理の普及を図ります。

#### 将来像

地域に伝わる文化財・伝統文化・食文化が脈々と受け継がれています



大友氏館跡庭園



豊後料理



## 基本施策 つなぐ (2) 地域・都市・国際交流の充実

文化・芸術による交流を通じて、地域に暮らす人と人とがつながり、良好な地域コミュニティの形成や一体感の醸成を図るとともに、本市と国内外の都市間における文化・芸術活動の活発化や質の向上を図ります。

### ● 現状と課題

地域に暮らす人と人との心がつながり、都市と都市、国と国との信頼をつなぐためには、文化・芸術が大きな役割を果たします。地域における文化・芸術活動は、住民の絆づくりや世代間交流、地域コミュニティの活性化につながっています。また、都市交流においては、大分都市広域圏や「きずなづくりの誓い」を締結している兵庫県宝塚市との文化交流事業を通じて、お互いの文化・芸術の質の向上を図っています。加えて、国際交流においては、姉妹・友好都市等との文化・芸術交流や園児等を対象とした外国人留学生との交流、海外の大学生との交流等に積

極的に取り組んでいます。

文化・芸術に関するアンケートでは、文化・芸術による都市交流及び国際交流は、本市の文化・芸術施策を重要度・満足度で分類した相関表（P13参照）において、推移を見ながら維持が望まれる現状維持項目に位置しており、継続的な交流が求められています。一方、文化・芸術活動による地域コミュニティの再生は、推移を見ながら改善が望まれる「長期対応項目」に位置しており、地域に根差した文化・芸術活動の継続的な支援が必要とされています。



### ● 取組項目

#### ①文化・芸術による地域内交流の促進

地域の特色ある文化・芸術活動を支援することで、地域に対する愛着をはぐくむとともに、住民同士のつながりを深め、地域の活性化を図ります。

#### ②文化・芸術関連自治体との都市交流の推進

文化・芸術団体等の相互派遣や合同の公演、展覧会等を通じて都市交流を図ります。また、大分都市広域圏や他の圏域との連携強化を図り、文化・芸術事業の充実に取り組みます。

#### ③文化・芸術による国際交流の推進

姉妹・友好都市等との文化・芸術交流の充実や、関係機関との連携による国際化・多文化共生イベントに取り組みます。また、外国人と直接触れ合える機会の創出のため、外国人留学生や海外の大学生等との交流事業を行います。

### 将来像

文化・芸術によって地域、都市、国で交流が生まれ、絆が深まっています



兵庫県宝塚市との文化交流



おでかけ ENGLISH～留学生と英語で遊ぼう～

## 基本施策 つなぐ (3) 文化・芸術の創造性を生かした新たな価値の創出

文化・芸術と観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の関連分野との連携を図り、にぎわいの創出や地域経済の活性化を図るとともに、創造都市大分の魅力を国内外に情報発信します。

### ● 現状と課題

文化芸術基本法では、文化・芸術の固有の意義と価値を尊重しつつ、文化・芸術そのものの振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の関連分野との連携を図り、文化・芸術により生み出される様々な価値を文化・芸術の継承、発展及び創造につなげていくこととしています。

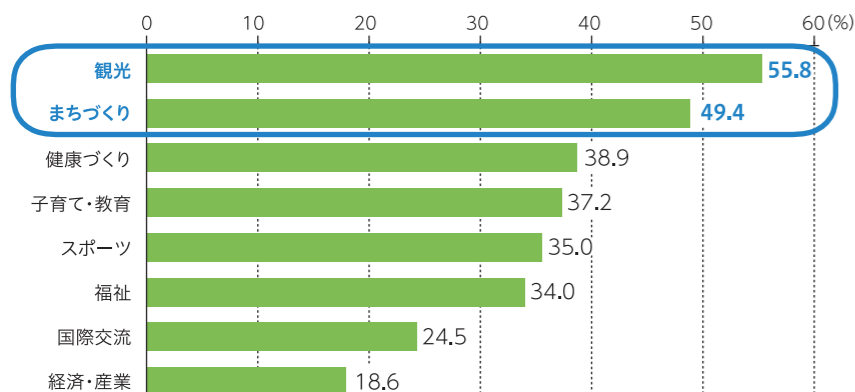
本市では、創造都市ネットワーク日本への参画を通じて、文化・芸術と関連分野との連携を進めており、産業分野では、中小企業における商品開発において、デザインの力で付加価値をつけることで、中小企業や商品等の魅力の向上を支援するクリエイティブ産業の育成に取り組んでいます。また、まちづくり分野では、中心市街地のにぎわいの創出や回遊性の向上による地域経済の活性化を目的としたアートを活かしたまちづくり等に取り組んでいます。

さらに、本市の魅力的な文化・芸術資源としては、2019（令和元）年にプリツカー賞を受賞した本市出身の世界的建築家である磯崎新氏が設計した建築物や、道行く人が芸術を身近に感じられる屋外彫刻等が市内各所に多数存在しています。

文化・芸術に関するアンケートでは、文化・芸術を生かした方が良いと感じる分野として、「観光（まち歩き、文化財・史跡や食文化を活用した誘客増加など）」が最も多く、次いで「まちづくり（まちなかの活性化や景観を生かすことを目的としたイベントの開催、地域行事の開催など）」となっており、文化・芸術資源の観光分野への活用や、文化・芸術イベントによる地域の活性化等が求められています。

### 文化・芸術に関するアンケート

文化・芸術を生かした方が良いと感じる分野（P52参照）



### ● 取組項目

#### ①文化・芸術の幅広い関連分野への活用

幅広い関連分野で文化・芸術と連携した事業の展開に向けて、庁内横断的な連携事業の検討や情報共有を図るとともに、先進的な取組事例の調査・研究に取り組みます。

#### ②文化・芸術によるにぎわいの創出・地域経済の活性化

魅力的な文化・芸術イベントを市内各地で開催し、多くの人を呼び込むことで、にぎわいの創出を図ります。また、回遊性を高め、来訪者の滞在時間の延長を図ることで、地域経済の活性化につなげます。

#### ③魅力ある文化・芸術資源の活用・国内外への情報発信

本市が誇る建築物や彫刻等の文化・芸術資源の活用を進めるとともに、カルチャーツーリズム<sup>\*</sup>を推進することで国内外からの誘客を図ります。また、インターネット等の各種広報媒体、訪日外国人旅行者及び外国人留学生等を通じて、世界に本市の魅力を情報発信することで、都市の価値を高めます。

### 将来像

文化・芸術と幅広い関連分野との連携で新しい価値が生まれ、地域社会や地域経済が活性化しています



アートを活かしたまちづくり



アートプラザ

用語解説

<sup>\*</sup>カルチャーツーリズム

日本独自の歴史に根ざした文化財、多彩なまつり、伝統芸能などの文化的な観光資源と触れ合い、これに関する知識及び理解を深める取組。